

## 春季労使交渉(最終集計)

## 【春季労使交渉】

本会が調査した春季労使交渉結果では、報告のあった55社の妥結額平均は4,856円、アップ率は1.85%だった。昨年の実績(5,134円、1.96%)と比べて金額で278円、率で0.11%下回った。賃上げが前年を下回ったのは3年ぶり。

業種別でみると、製造業34社の平均額は5,331円、アップ率は1.98%だった。昨年実績(5,475円、2.05%)と比べて金額で144円、率で0.07%下回った。化学、食品以外の製造業で昨年を下回った。

非製造業21社では4,088円、1.60%の引き上げだった。昨年実績(4,622円、1.80%)と比べて金額で534円、率で0.2%下回った。運輸・通信、卸・小売では昨年を上回ったが、その他(主にサービス業)では、金額で1,353円、率で0.65%下回るなど業種によってばらつきが目立った。

ベースアップの実施企業は昨年より3社減少の26社で、実施率は47.3%だった。

今年の賃上げ額を昨年実績と比べると、55社中昨年を下回った企業が24社に上ったのに対し、上回った企業は9社にとどまった。

《参考》 経団連が発表した中小(従業員500人未満)の賃上げ妥結結果(6/12、中間集計)では、201社の妥結額平均は4,471円、率は1.72%となっており、前年の同時期の集計に比べて、金額で293円、率で0.15%下回っている(3ページ参照)。

## 【令和2年春季労使交渉結果(最終集計)】

業種	春季賃金交渉状況		
	社数	妥結額(円)	アップ率(%)
<b>製造業計</b>	<b>34</b>	<b>5,331 (5,475)</b>	<b>1.98 (2.05)</b>
化学	12	6,743 (6,249)	2.44 (2.25)
機械金属	6	3,845 (4,260)	1.44 (1.67)
食品	2	6,164 (6,012)	2.60 (2.56)
金属製品	3	6,666 (7,839)	2.17 (2.66)
電気機器	4	3,389 (3,789)	1.24 (1.39)
その他	7	4,484 (4,812)	1.82 (1.95)
<b>非製造業計</b>	<b>21</b>	<b>4,088 (4,622)</b>	<b>1.60 (1.80)</b>
運輸・通信	6	3,092 (2,949)	1.43 (1.26)
金融	2	4,968 (5,234)	1.74 (1.82)
卸・小売	8	4,173 (3,782)	1.55 (1.49)
土木・建設	0	-	-
その他	5	4,795 (6,148)	1.89 (2.54)
<b>全平均</b>	<b>55</b>	<b>4,856 (5,134)</b>	<b>1.85 (1.96)</b>

## 【ベースアップの実施・賃上げ額の昨年比】

	社数	ベースアップ実施		賃上げ額の昨年比		
		今年	昨年	上回る	同水準	下回る
製造業	34	16	18	6	12	16
非製造業	21	10	11	3	10	8
全体	55	26	29	9	22	24